

教室での遅すぎるWi-Fi怒り事件

● 現在の問題点...

私たちの教室では、Wi-Fiが眠そうなカタツムリよりも遅く動きます。教育ソフトウェアをダウンロードしようとしたり、Google ミーティングを開こうとしたり、教育的なビデオを見ようとしたりするたびに、いつも時間がかかります。

『読み込みマークは、今や最も忠実なクラスメイトです。☺』



● その結果....

- I. 生徒たちは集中力を失います。
- II. オンライン学習はイライラの元です
- III. 一部のアプリはまったく開けません。



● この問題の原因を見てみましょう！...

(1) 接続しているデバイスが多すぎる。

多くの生徒や先生が同時に接続すると、ネットワークが混雑して処理しきれなくなります。一部の人が動画を見たり大きなファイルをダウンロードすると、帯域が奪われてしまいます。

(2) 教室内のWi-Fi電波が弱い

ルーターが遠かったり、壁に遮られていると、電波が弱くなり不安定になります。

(3) 古いネットワーク機器の使用。

古いルーターやアクセスポイントは、現在の高速通信や多人数の接続に対応できません。

(4) 低速なインターネット契約

(5) 定期的なメンテナンスがされていない

この問題の主な原因は：接続しているデバイスが多すぎること、教室内のWi-Fi電波が弱いこと、古いネットワーク機器の使用していることというこの3つだと思います。



● こ

の問題を解決するにはどうすればいいのでしょうか？ (AI先生に聞いてみましょう !!!)

1. 学校にインターネットプランのアップグレードをお願いする。

✧ 高速なプランなら、より多くの生徒が安定して使えます。

2. ルーターを教室の近くに設置する。

✧ 電波が強くなり、接続も安定します。

3. Wi-Fi中継器やメッシュネットワークを導入する。

✧ 学校全体に均等なWi-Fiを届けることができます。



4. 授業中の動画視聴やゲームなどを制限する。

◇ 帯域を使いすぎるサイトを制限すれば、学習に必要な通信がスムーズになります。

5. IT担当者に定期的なメンテナンスを依頼する。

◇ ルーターの更新やキャッシュのクリアで速度が改善します。

6. オフライン教材を活用する。

◇ Wi-Fiが不調でも、学習が続けられます。

● 結論

この問題の解決方法から見ると最も安く効果的な方法として、

I. ルーターを教室の近くに移動すること。

- ✓ 効果: すぐにWi-Fiの強さと速度が改善します。
- ✓ コスト: 無料、または非常に安価(学校の許可だけでOK)

II. 教育に関係ない用途(YouTube・ゲームなど)を制限すること。

- ✓ 効果: 学習用アプリの通信がスムーズになり、ラグが減ります。
- ✓ コスト: 無料(学校のIT担当者が設定可能)。
1. 教室にWi-Fi中継器(エクステンダー)を設置する

ルーターを動かさない場合は...

I. 教室にWi-Fi中継器(エクステンダー)を設置するvs メッシュネットワーク

- ✓ 効果: ルーターからの信号を教室内で強く再送信してくれるので、Wi-Fiが飛びやすくなります。

- ✓ 要か: 回線自体が遅ければ、LANケーブルを使っても速くなりません。

- ✓ もし一つの教室だけが問題なら: → Wi-Fiエクステンダーが良いと思います。(低コストですぐに効果あり。1教室だけなら十分です！)

- ✓ もし多くの教室でWi-Fiが弱いなら: → メッシュネットワークが良いと思います。(学校全体をカバーできるので、少し高いですが価値があります。)

II. インターネット契約プランの確認

- ✓ なぜ重要か: 回線自体が遅ければ、LANケーブルを使っても速くなりません



...以上...